

平成 23 年度事業計画

平成23年5月16日

北陸経済連合会

この度の東日本大震災は、回復が期待されていた日本経済全体に影を落としており、その影響の拡大、長期化が懸念される。このため、被災地の復旧の最優先実施はもとより、日本経済、特に生産活動の停滞を招かないよう国を挙げた強力かつ迅速な対応が必要である。また、今回の震災を契機として、リスクの分散、インフラの整備等、自然災害に強い安全・安心な国土づくりを行っていく必要がある。

平成 23 年度は、東日本大震災に対する対応や、北陸新幹線の敦賀延伸、北陸が有するポテンシャル発揮のための取組みを重点方針として、着実に事業を推進するとともに、被災地の支援・復興への協力、経済活動を通じて、生活・経済の復旧に取り組んでいく。

【重点方針】

I 東日本大震災に対する対応

- ・財政措置や金融の安定化等、震災による経済活動への影響に対する対策の要望
- ・安全・安心な国土づくりに向けた要望
- ・日本海側の道路や鉄道、港湾など社会インフラ整備の促進による代替補完機能の確保

II 北陸新幹線の敦賀までの工事实施計画の一括認可の実現

- ・北陸新幹線の代替補完機能の定量化による必要性・有効性アピール

III 北陸が有するポテンシャル発揮のための取組み

- ・産学官連携・知的資産経営の促進によるイノベーション創出や新産業の創出に向けた調査研究の実施
- ・東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援
- ・北陸三県が一体となった広域観光推進体制の再構築・強化

【重点施策】

1. 総合対策委員会

- (1) 東日本大震災を踏まえた政策要望活動の実施
 - ・平成 24 年度政府予算等に対する要望活動の実施
 - ・西日本経済協議会の開催および要望活動の実施
- (2) 活力あふれる自立した北陸圏づくりの推進
 - ・第三次中期アクションプランのPDCAの実践による継続的な改善

2. 社会基盤整備委員会

- (1) 社会インフラ整備の促進による代替補完機能の確保のための取組み
 - ・東海地震発生時の北陸地域の代替補完機能調査の実施
- (2) 「敦賀までの工事実施計画の一括認可」に向けた活動
 - ・北陸新幹線の代替補完機能の定量化調査の実施
- (3) 並行在来線の安定運営に向けた国やJRの支援施策の検討・要望
- (4) 中部縦貫道等の早期全線開通への要望継続

3. 広域観光推進委員会

- (1) 北陸の認知度向上、魅力・満足度向上に向けた取組み
 - ・震災による観光客減少を受けた西日本地域への誘客働きかけ
- (2) 北陸三県が一体となった広域観光推進体制の再構築・強化
 - ・北陸広域観光の戦略的PR・推進体制のあり方の提言、および提言実現に向けた関係機関との協議

4. 先端技術推進委員会

- (1) 産学官連携・知的資産経営の促進によるイノベーション創出の支援
 - ・北陸の中堅・中小企業と大手企業等との個別マッチング実施
 - ・高信頼システム情報交換会・北陸の実施
- (2) 新産業の創出に向けた調査研究の実施(ロボット、コンバートEV)
 - ・「次世代ロボット研究会」、「次世代自動車フォーラム in 北陸」の設立

5. 国際交流推進委員会

- (1) 東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援
 - ・企業の国際化展開に役立つ勉強会・セミナーの実施
- (2) 東アジア諸国との経済交流の実施
 - ・第 12 回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催
 - ・北陸三県一体となった海外見本市への出展支援

【事業計画】

I 災害時、命を守り、代替補完機能を担うための社会インフラ整備

[社会基盤整備委員会]

1. 社会インフラ整備の促進による代替補完機能の確保のための取組み

(1) 東海地震発生時の北陸地域の代替補完機能調査の実施〈新規〉

2. 北陸新幹線の建設促進に向けた支援・要望活動

(1) 敦賀までの工事実施計画の一括認可に向けた活動〈強化〉

- ・東海地震発生時の北陸新幹線の代替補完機能の定量化調査の実施〈新規〉
- ・政府、与党等に対する要請活動

(2) 平成 26 年度末の確実な金沢開業に向けた活動

(3) 大阪までの全線整備に向けた取組み

3. 並行在来線の課題対策への支援

(1) 並行在来線の安定運営に向けた国やJRの支援施策の検討・要望

- ・国の支援策※による収支改善効果を踏まえた調査や国への提言の実施
(※平成 22 年 12 月末公表)

4. 高規格幹線道路の整備促進に向けた要望活動

(1) 中部縦貫・舞鶴若狭・能越自動車道の早期全線開通への要望継続

(2) 東海北陸自動車道の四車線化への要望継続

5. 北陸港湾の連携・整備促進

(1) 物流機能強化に向けた港湾関係機関との勉強会の実施

- ・日本海側における拠点港湾整備への対応

(2) 北陸の港湾連携推進のための共同ポートセールスの実施

- ・北陸三県共同ポートセールスセミナーの開催

II 広域観光推進 [広域観光推進委員会]

1. 北陸の認知度向上、魅力・満足度向上に向けた取組み

[関連組織: 北陸イメージアップ推進会議]

- (1) 旅行会社等と連携した北陸物語・モデルコースの充実、旅行商品化の促進
 - ・東日本大震災による観光客減少に対応するための西日本地域での誘客活動の実施 <新規>
 - ・北陸のイメージ・来訪意向調査による東日本大震災の影響把握
 - ・旅行会社への「北陸物語 vol.1」の訪問配布、旅行商品化の働きかけ
 - ・「北陸物語 vol.2」発行による北陸の魅力・モデルコースの発信
 - ・新たなニーズに対応した着地プログラムの充実
- (2) ビジットジャパンキャンペーンと連携した外国人観光客向け情報の発信
 - ・北陸物語の英文翻訳とインターネットによる発信 <新規>

2. 北陸三県が一体となった広域観光推進体制の再構築・強化

- (1) 北陸広域観光の戦略的PR・推進体制のあり方の提言、および提言実現に向けた関係機関との協議の実施 <新規>

III 産業振興 [先端技術推進委員会]

1. 産学官連携・知的資産経営の促進によるイノベーション創出の支援

- (1) 北陸の中堅・中小企業と大手企業、大学・公設試験場等とのマッチング支援
 - ・1対1の個別マッチングの継続実施
 - ・展示会への出展PR等（北陸技術交流テクノフェアへの出展支援）
- (2) 人材育成・技術力アップのための情報交換会の開催
 - ・「高信頼システム情報交換会・北陸」の実施 [北陸先端大との共催]

2. 生産性・付加価値向上のための企業間連携の支援

[北陸産業活性化センターとの共催]

- (1) 新産業発掘のための講演会・セミナーの開催
 - ・北陸企業等の技術発展につながる講演会・セミナーの開催
- (2) 新産業の創出に向けた調査研究の実施(ロボット、コンバートEV等)
 - ・「次世代ロボット研究会(仮称)」の設立 <新規>
 - ・コンバートEV試作・実証実験、および「次世代自動車フォーラムin北陸」の設立 <新規>

3. 企業誘致の推進 [関連組織:北陸国際投資交流促進会議]

(1) 東日本大震災を受けた本社機能や工場の地方分散化の動きへの対応 <強化>

- ・大規模展示会への出展
 - ・メカトロテックジャパン 2011 (H23年9月、名古屋)
 - ・第41回インターネプコンジャパン (H24年1月、東京)
- ・首都圏での企業立地セミナーの開催 <新規>

(2) 海外からの投資促進に向けた情報発信

- ・「北陸・韓国経済交流会議」での企業誘致PR活動の実施
- ・WEBサイト(中国語版)での企業誘致PRのトライアル

IV 国際経済交流 [国際交流推進委員会、関連組織:北陸AJEC]

1. 東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援

(1) 会員ニーズに基づいた情報提供、調査事業の実施

- ・企業の国際化展開に役立つ勉強会・セミナーの実施 <新規>
- ・北陸AJEC 環日本海講演会への支援

2. 東アジア諸国との経済交流の実施

(1) 東アジアの企業、経済団体等との定期交流、商談会等の実施

- ・第12回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催 (韓国慶州)
- ・北陸三県一体となった海外見本市への出展支援 (中国上海) <新規>

V 地域力の向上に向けた取り組み [総合対策委員会]

1. 国等に対する提言

(1) 東日本大震災を踏まえた政策要望活動の実施

- ・平成 24 年度政府予算等に対する要望活動の実施
 - ・震災による経済活動への影響に対する対策の要望 <新規>
 - ・政府補正予算の早期成立・執行
 - ・株式市場や為替等の金融の安定化
 - ・安全・安心の国土づくりの要望 <強化>
 - ・自然災害に備えた国の防災体制や危機管理体制の再構築
 - ・リスクの分散等、自然災害に強い国土づくり
- ・西日本経済協議会※の開催および要望活動の実施
 - ・「西経協震災復興支援本部」設置(平成23年4月)、提言とりまとめ <新規>
(※北陸、中部、関西、中国、四国、九州の 6 経済連合会を構成員とする協議会。
西日本全域の調和のとれた発展、および 地域間連携・協力を図ることを目的とする)

(2) 政党・行政当局との勉強会等の実施

- ・地元選出国會議員との勉強会実施
- ・中部・近畿経済産業局、および、北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会開催

2. 活力あふれる自立した北陸圏づくりの推進

- (1) 第三次中期アクションプランのPDCAの実践による継続的な改善
- (2) 北陸圏広域地方計画の実現に向けた取組み、および 国・3県の活動のフォロー

3. 低炭素社会の形成に伴う環境ビジネス創出の支援

[関連組織:北陸環境共生会議]

(1) 低炭素社会の形成など、新たな課題への取組みの支援

- ・北陸三県環境フェアへの出展
- ・北陸三県の企業・行政による勉強会の実施

【第三次中期アクションプラン(H23~27)における評価指標・目標】

		評価指標	目 標	現状値
Ⅰ 社会インフラ整備	1. 北陸新幹線の建設促進	整備進捗状況	敦賀までの工事実施計画の一括認可	白山車両基地まで着工済
	2. 高規格幹線道路の整備促進	整備進捗状況	中部縦貫道、能越道の未着工区間の工事決定	[供用率] 中部縦貫道:27% 能越道:70%
	3. 北陸港湾の連携・整備促進	①国際コンテナ貨物取扱量 ②地元港湾利用率	全国の伸び率対比で上回る	①90千TEU ②42.3%・ 全国8位/9ブロック
Ⅱ 広域観光推進	1. 北陸の認知度向上に向けた情報発信	①ブランド知覚指数 ②来訪意向	現状より上位	②石川12位、富山28位、福井41位
	2. 北陸の魅力・満足度向上に向けた取り組み	①日本人満足度 ②外国人「友人に薦めたい場所」	全国平均値を上回る	②北陸36.6%・ 全国6位/9ブロック (全国平均値50.6%)
	3. 北陸3県が一体となった広域観光推進体制の強化	北陸広域観光を推進するための体制構築	H23年度中	既存広域組織の事業規模が小さく、連携が乏しい
Ⅲ 産業振興	1. 産学官連携・知的資産経営の促進によるイノベーション創出の支援	産学官連携、知的資産経営、新規分野への取り組み状況(会員アンケート)	すべての指標について過半数	[既に実施] 産学官連携32% 知的資産経営26% 新規分野24%
	・個別マッチング実施	成功事例数(商談まで展開)	H23年度:7件以上	H22年度:6件
	・高信頼システム情報交換会・北陸の実施	開催回数	H23年度:6回	H22年度:5回
	2. 生産性・付加価値向上のための企業間連携の支援	①従業員あたりの製造品出荷額等 ②従業員あたりの付加価値額	全国の伸び率対比で上回る	①34.9百万円・ 全国8位/9ブロック ②11.3百万円・ 全国7位/9ブロック
	・新産業発掘講演会・セミナーの開催	開催回数	H23年度:8回	H22年度:6回
	3. 企業誘致の推進	企業誘致件数	420件 [H19~H24]	167件[H19~H22]
Ⅳ 国際経済交流	1. 東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援	国際化の実施・検討状況	「既に実施」「実施を検討」「必要性を感じている」:それぞれ過半数	「既に実施」「実施を検討」「必要性を感じている」計32%
	2. 東アジア諸国との経済交流の実施	東アジアとの経済交流件数	東アジアとの新たな経済交流の実施	韓国との経済交流会議を毎年開催
V 地域力向上	1. 国等に対する提言機能の強化	北経連事業活動に対する会員アンケート	会員の事業認知度・評価の維持向上	「国への要望活動、他経済団体・行政との懇談会を評価する」:94%

注：詳細は第三次中期アクションプラン参照